【2023年12月 月間予定表 ―椥辻南校― 】 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

１２月の予定

1	金	
2	土	土曜特訓❼⑧（小６受験生・中３対象）
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	土曜特訓❽⑨（小６受験生・中３対象）
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	休校日 ※全教室、校舎を閉めております。
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	●『冬期講習』開始
23	土	●
24	日	●
25	月	●
26	火	休校日
27	水	●
28	木	●
29	金	●
30	土	休校日 / 中３対象「年末特訓」
31	日	休校日

冬期講習は 1/6（土）修了です。
1/9（火）から通常授業を再開します。

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【１０月度のMVP】

●高３ M.K さん
●高３ I.R さん

志望大学に推薦で合格！ おめでとう！！
素敵な大学生になってくださいね★

●中３ W.Y 君

第４回Ｖ模試で、全科目、立誠学院グループ208名中の１位！（立誠史上新記録）
最新の定期テストも、英・数・国の３科目で100点。５科合計得点も史上新記録です!!

【 父へのラストメッセージ】

※この挨拶文は、2015年12月分からの転載です。

保護者の皆様、いつもお世話になっております。
いよいよイベントが盛りだくさんの12月。12月のイベントといえば･･････
そう、たまさんの誕生日（ダレやねん！！）＊注 山田の高校時代からの親友(^^)
そーいえば、私の誕生日は父の日でした。こーいうのって父親って嬉しいモノなんでしょうかねえ。私の父はあまり多くを語らないので、反応がつかめない･･･(^^;)
むかしからいつも私の聞き役でした。

（小学生の頃）
私「とおちゃん、算数のテストで10点だったんだけど、10点満点って、その下に書いておけば母ちゃんに叱られないかな？」
父「あんな、テストは100点満点なんや。だからすぐバレるから止めておけ」
私「あ、そうなのかー。だから、この前、30点だったとき、０をひとつ増やして300点にしたら母ちゃんにすぐバレたのかー」
父「・・・」

（高校生の頃）
父「おまえ、ちゃんと勉強しないと留年するぞ」
私「大丈夫、留年したら、友達が２倍に増えるやろ？そーなったらオレ有名人やん♪」
父「・・・」

父は寡黙で、普段は本当にしゃべりません。子育てもほとんど母に口出ししていなかったように思います。「ここぞ」という場面にだけ出てきて、おいしいとこだけもっていく。家族の中ではそんな都合の良い立ちまわりでした（笑）。
100歳まで生きると豪語していた父ですが、その父が先日亡くなりました。
私が病院に駆けつけたときには、すでに帰らぬ人でした。
さすがに泣きました。大のおとながみっともなく声を上げて。
父がいなくなった寂しさ以上に、父に何もしてやれなかった自分が不甲斐なくて･･･。
落ち込みました。身近な家族にすら何もしてやれない人間が、他人をしあわせにすることなんてできるのだろうか、と。

でも父はこんなどうしようもない息子でも、いつも信頼してくれていました。

私「オレ教育者になってこの国の教育の在り方を正したい」
父「おまえならできるよ」

私「オレ将来、自分の学校を作りたい！」
父「おまえはなんでもやれるよ」

私「オレ誰かの下で仕事するとかムリ。独立して京都でナンバーワンの塾をつくる」
父「いつか言うと思ったよ（笑）」

どんなときも、応援してくれた･･･私のすることをなんでも信じてくれた･･･。
父の大きな愛情のなかで育ってきたんだと思うと、涙があふれ出ました。
この日、私は泣いて泣いて、決意しました。
いつか、「とうちゃんが自慢したくなるような、いい男になろう」と。

父は入院する直前まで仕事をしていました。定年退職してから資格を取った老人介護のヘルパーです。フツー70歳過ぎてから自分より若い年寄りの世話をするか！？
しかも腰を患っていて、歩くことさえ困難な状態で。日常生活さえままならないのに、それでも痛さをこらえて･･･。

最後まで必死に、自分が人のために出来ることをしようとしていたんだと思います。
必死に最後まで生きた親の姿は、子どもが困難に出会った時、必ず力を与えてくれるはず。

「アルプスの少女ハイジ」のワンシーンで、ハイジがアルムじいさんにこう質問します。
「おじいちゃん。夕焼けは、なぜ、こんなに美しいの？」
アルムじいさんの答えはこうです。
「人間であろうと、何であろうと、お別れするときが一番美しいんだ。
いま、太陽がね、地球からお別れをしているから、こんなにも人の心を打つんだよ」

父との思い出はたくさんあります。今では私にとって、とびっきりの宝物です。
不思議ですね。父が生きていたときは何てことなかったことが、これからは生きていくための心の支えになるんですから。

とうちゃん、
出来の悪い息子でほんとゴメンやったな。
オレは育ててもらったことへの感謝しかない。いっぱいいっぱいありがとう。
この恩は、仕事をつうじて、多くの人たちに返していくから。
とおくで見てて。
バイバイ、とうちゃん。

塾長　山田　大介